

広報さむかわ8月号「新型コロナウイルス感染症対談」

対談日：令和2年6月22日（月）

回答者：茅ヶ崎市保健所 中沢明紀所長 質問者：保健対策ケアチーム員 高宮優輝保健師

<新型コロナウイルスについて>

Q 新型コロナウイルス感染症とは

A 新しい感染症であり、ワクチンもなく、免疫もないため誰でも感染する可能性がある。

Q どういうふうに感染するのか

A 「飛沫感染」と「接触感染」で感染する。

飛沫感染：感染者の飛沫（くしゃみ、咳、唾液等）と一緒に放出されたウイルスを、口や鼻から吸い込むことで感染

接触感染：ウイルスが付いているものに手などが触れ、その後に口や鼻等の粘膜に触れることで感染

Q 抗体ができればかからないのか

A 新型コロナウイルス感染症の抗体は、その持続時間や効果について不明な点も多い。

WHOは「かかった人が必ずしも免疫を獲得し再感染しないという保証はない」と言っている。

<感染予防について>

Q 三密とは

A 密室：換気の悪い密室空間

密集：多くの人が集まっている状態

密接：手を伸ばしたら届く範囲（2m）での会話や発言

※濃厚接触者の定義は1m以内15分マスクなしで接触

Q 夏は感染の危険が少ないのか

A 一般に高温多湿に弱いのではないかとされているが、詳細は不明。従って感染が少なくなるかどうかはわからない。感染拡大も起こると想定する。対策は予防しかない。

Q 感染においてクラスターの影響は大きいのか

A 感染者の数が增多ることの対応だけではなく、地域医療に及ぼす影響も大きい。

Q 新型コロナウイルスは何をもって終息なのか

A それは非常に難しい。新規感染者がいなくなることが重要だが、それだけではないと思う。

<生活について> ～買い物・食事～

Q お店に行くときは

A マスクを着用し、お店の出入り時は手指の消毒をしましょう。

Q 買い物に行くときは

A 買う物をリスト化し、少人数・短時間で済ませましょう。

Q テイクアウトをするときは

A 購入したらすぐに帰宅し、長時間持ち歩かないようにしましょう。

Q 調理中は

A 野菜などの食材は流水できれいに洗い、肉や魚などは中心部を75度で1分以上加熱しましょう。

Q 食品と介して感染する

A 基本的にありません。

Q 調理前は

A 料理をする前は必ず手を洗い、食材等の温度管理を徹底しましょう。

Q 調理後は

A 高温多湿になる夏は食中毒に気を付け、すぐに食べない場合は冷蔵庫で保存しましょう。

Q 帰宅後は

A 手洗いや洗顔を行い、なるべくシャワーを浴び、着替えるようにしましょう。

<夏休みについて>

Q 出かける前は

A 必ず体温を測り、健康チェックを行いましょう。

Q 外出先では

A 行先の混雑状況を確認し、3密を避けましょう。

Q 旅行するときは

A できるだけシンプルな行程で、自分がどこに行ったのか行動記録をとると、万一行先に感染した人がいたときに役立ちます。

<子どもの感染予防について>

Q 子ども同士の感染は

A 子どもは、ほとんどの場合が近くの人から感染しますので、まずは大人が感染しないようにしましょう。近くの人からウイルスを持ち込まないことが重要です。

Q 子どもに消毒液は必要

A 外遊びを活発にするなら消毒液を使用しましょう。

Q 外遊びをしたときは

A 帰宅したらすぐに手洗いを行いましょう。飲食の際は特に注意をしましょう。

Q 子どもが感染しないためには

A 手洗いや咳エチケットが必須です。

<災害時の避難について>

Q 避難所に行くときは

A 感染対策をして避難をお願いします。

Q 避難所に行く場合、持っていくものは

A マスクや体温計などの衛生用品のほか、小型テント等があるとパーテーションの代わりに
なります。

Q 体調が悪い時の避難は

A 避難所へ行くことだけが避難ではありません。在宅避難（上の階への垂直避難）、知人宅への
避難、安全な場所での車中泊等も検討しましょう。